

# 茅ヶ崎市教育基本計画中間見直しに係る検討資料

— 現行計画策定後の社会情勢等の変化、本市の教育に係る現状等について —

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 現行計画策定後の社会情勢等の変化 | … 2  |
| 2. 本市の現状            | … 5  |
| 3. 現行計画の指標の推移       | … 17 |

# 1. 現行計画策定後の社会情勢等の変化 国の教育方針と活動の在り方

## 教育を取り巻く環境の変化

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0の時代」
- 予測困難な「VUCA」の時代到来
- 生産年齢人口が現在の約3/4に減少(2050年)
- 公立小中学校の児童生徒数が約1割減少(過去10年間)
- 子供の抱える困難の多様化・複雑化(特別支援教育の対象となる児童生徒や外国人児童生徒・不登校児童生徒の増加、児童虐待、ヤングケアラー、貧困など)
- GIGAスクール構想による1人1台端末環境の実現、教育DXの推進によるデータを活用した知見の共有と新たな教育価値の創出の必要性
- 教師の長時間勤務と人員不足
- 教師の処遇改善の必要性

(「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(令和5年5月22日中央教育審議会諮問)より)

## 第3期教育振興基本計画 (平成30年度～令和4年度)

- 2030年以降の社会を見据えた教育政策
- 人口減少・高齢化、技術革新、グローバル化など社会変化を踏まえ、2030年以降の社会に対応できる人材育成を目指す。
- 基本的な方針
  - ・夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
  - ・社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
  - ・生涯学び、活躍できる環境を整える
  - ・誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
  - ・教育政策推進のための基盤を整備する

## 令和の日本型学校教育 (令和2年度～)

- 「個別最適な学び(「個に応じた指導」(指導の個別化と学習の個性化)を学習者の視点から整理した概念)」と「協働的な学び」を、一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる
- 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現のための改革の方向性
  - ・学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する
  - ・連携・分担による学校マネジメントを実現する
  - ・これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する
  - ・履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる
  - ・感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する
  - ・社会構造の変化の中で、持続的で魅力ある学校教育を実現する

## 第4期教育振興基本計画 (令和5年度～令和9年度)

- 2040年以降の社会を見据えた教育政策
- コンセプト
  - ・持続可能な社会の創り手の育成
  - ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

# 1. 現行計画策定後の社会情勢等の変化

## 国の教育方針と活動の在り方(第4期教育基本振興計画)

### 第4期教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

#### 日本の教育の将来像を示し、その実現に向けた具体的な施策の方向性を定めた国の計画

#### ■ 社会の現状と変化(2040年以降の社会を見据えて)

- 人口減少や高齢化
- デジタルトランスフォーメーション
- グローバル化や多極化
- 地球環境問題
- 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来(VUCAの時代)

#### ■ コンセプト

##### 「持続可能な社会の創り手の育成」

幼児教育から大学院まで一貫性を持ち、社会のニーズに応えるものとなること  
デジタルとリアルの最適な組み合わせの観点から、コロナ禍後の教育と学習の在り方について検討  
絶えず変化する予測困難な社会における人材移動を支える社会人の学び直し(リカレント教育)

##### 「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

学習者視点に立ち、誰もが、いつでもどこからでも、だれとでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、  
一人一人の可能性が最大限引き出され、一人一人の多様な幸せであると共に社会全体の幸せでもあるウェルビーイングが  
実現されるように制度等の在り方を検討

#### ■ 今後の教育政策に関する基本的な方針

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成(主体的な社会形成への参画、STEAM教育、リカレント教育)
- ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進(多様な教育ニーズへの対応)
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進  
(地域コミュニティの基盤形成、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進、生涯学習を通じた自己実現・地域社会の担い手)
- ④ 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進(DXの段階移行:電子化→最適化、GIGAスクール、データ分析)
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話(働き方改革、NPOや企業等との連携・協働、関係団体との対話)

# 1. 現行計画策定後の社会情勢等の変化

## 教育等に関わる主な動向・取り組み

国  
・  
県

### 【令和3年度】

- 夏季オリンピック・パラリンピック東京大会開会式 ○デジタル庁発足 ○文部科学省「『教師不足』に関する実態調査」公表
- 文部科学省「第3次学校安全の推進に関する計画」策定

### 【令和4年度】

- 生徒指導提要全面改訂 ○スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」策定
- GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議「GIGAスクール構想の下での校務について～教職員の働きやすさと教育の一層の高度化を目指して～」
- 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教育の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)」

### 【令和5年度】

- こども家庭庁発足及びこども基本法施行 ○新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行 ○第4期教育振興基本計画閣議決定
- 中央教育審議会 質の高い教師の確保特別部会「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策(提言)～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」

### 【令和6年度】

- 小学校5年生から中学校3年生に対して英語のデジタル教科書の提供 ○神奈川県学校教育等情報化推進計画開始(令和6年度～10年度)
- 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(答申)」

市

### 【令和3年度】

- 現行教育基本計画開始(令和3年度～12年度) ○市内初のコミュニティ・スクール設置 ○勤怠管理システム導入

### 【令和4年度】

- 茅ヶ崎市博物館開館 ○デジタルアーカイブ「ちがだべ」アプリ「てくてく探偵茅ヶ崎」導入 ○中学校給食モデル事業実施 ○社会教育施設Wi-Fi環境整備
- 学校施設整備基金の設置 ○欠席連絡システムの全校配備 ○教職員のストレスチェックの実施

### 【令和5年度】

- 統合型校務支援システムの導入 ○学校施設再整備基本計画の策定 ○小学校水泳学習モデル事業開始
- 情報活用能力の育成に関する調査研究の実施

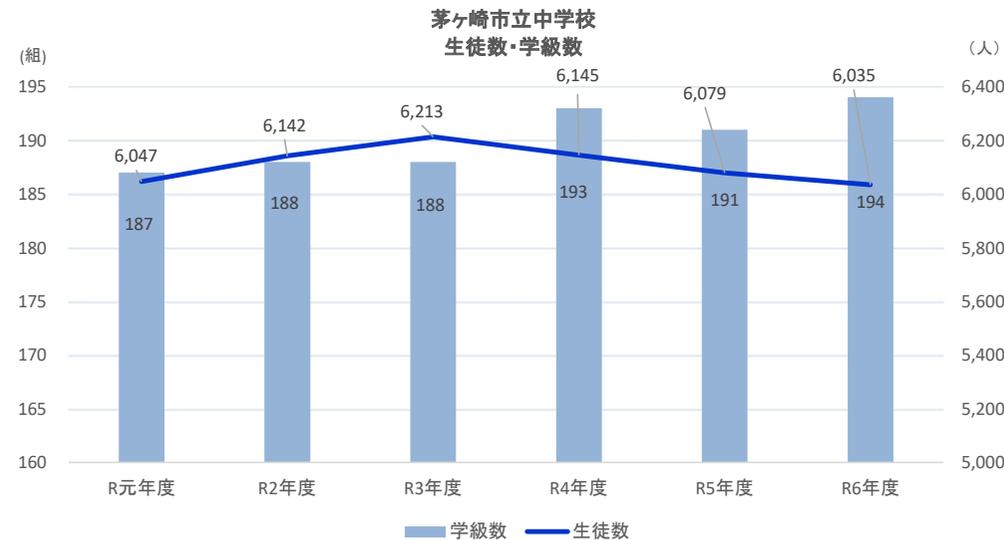
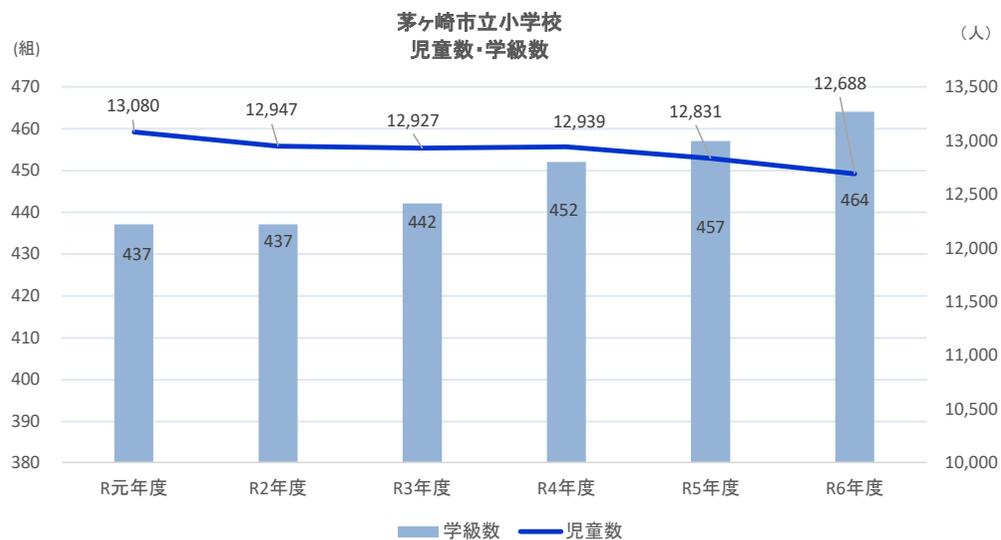
### 【令和6年度】

- 中学校給食の第1期開始(市内13校中6校) ○体験学習センターの指定管理者制度導入 ○国登録有形文化財(藤間家住宅主屋)耐震診断等実施

## 2. 本市の現状

### 小・中学校の児童・生徒数、学級数

少子化の進展等により、児童・生徒数は減少傾向です。一方で、学級数は35人学級の導入や特別支援学級の増加により増加傾向にあります。

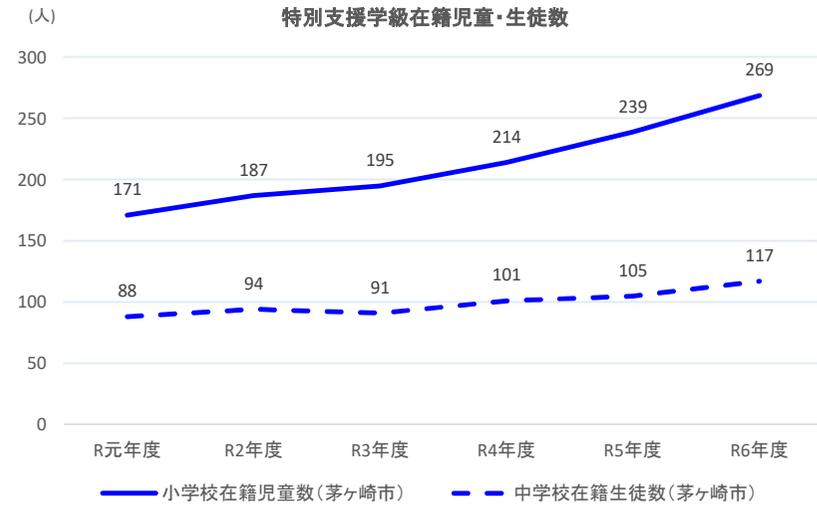
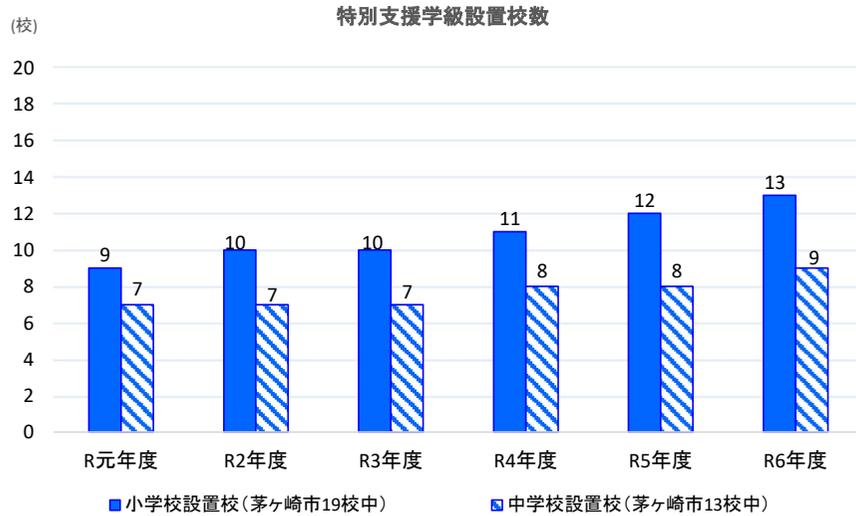


「小中学校児童生徒数及び学級数」(5月1日現在)(茅ヶ崎市)をもとに作成

## 2. 本市の現状

### 特別支援が必要な児童・生徒の状況

本市の特別支援学級設置校・在籍児童・生徒数は、ともに増加傾向となっています。令和12年度までに全校設置を目指しています。

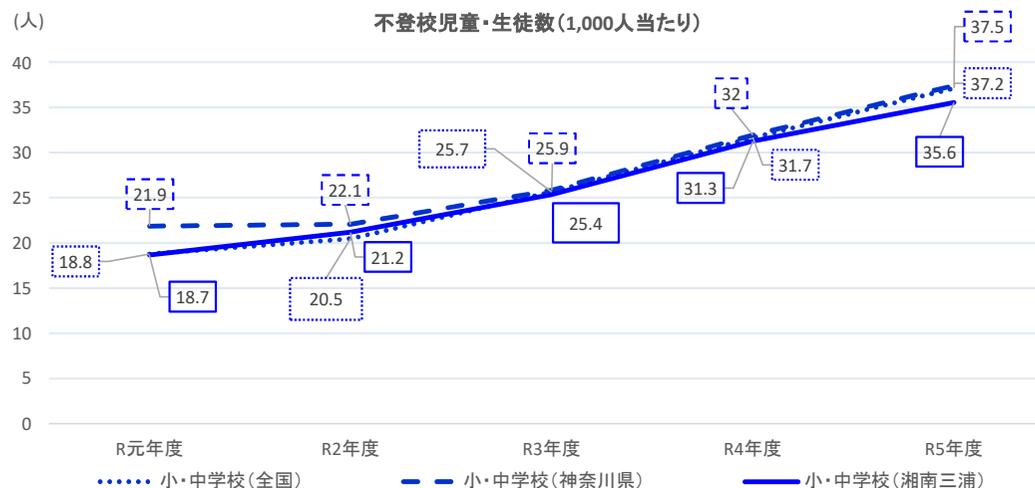


「小中学校児童生徒数及び学級数」(5月1日現在)(茅ヶ崎市)をもとに作成

## 2. 本市の現状

## 不登校の状況

本市を含む湘南三浦地域の不登校の児童・生徒の割合は、全国及び神奈川県と同程度を推移し、増加傾向となっています。本市は湘南三浦地域に含まれています。



※不登校（文部科学省の定義）：長期欠席者（「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、1年間に30日以上登校しなかった（連続したものであるか否かを問わない）児童・生徒）のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること（ただし、「病気」や「経済的理由」「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く）。

※「小・中学校（全国）」は、国公立の調査結果

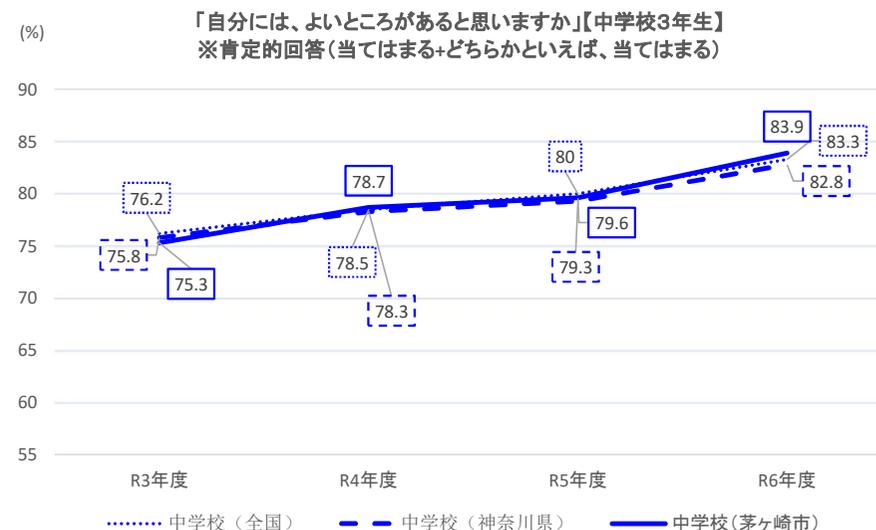
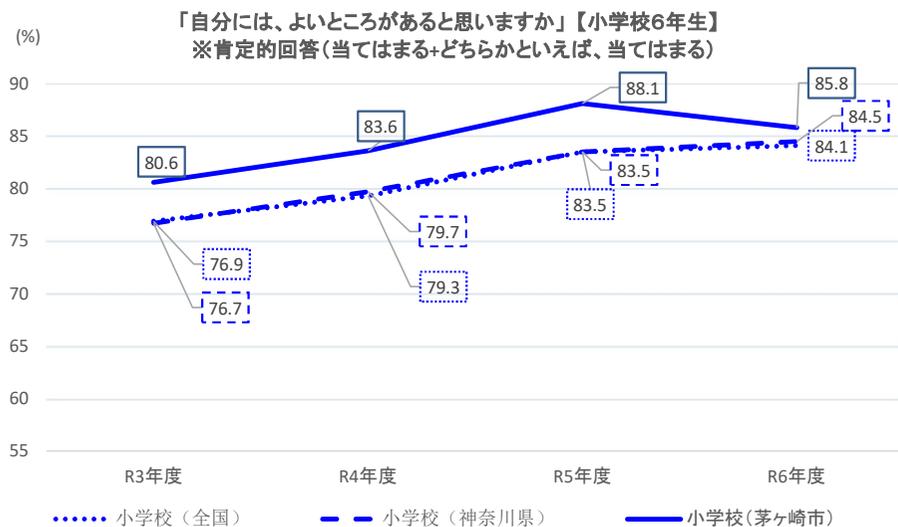
※「小・中学校（神奈川県）」及び「小・中学校（湘南三浦）」は、県立中等教育学校（前期課程）を除く

※湘南三浦地域：鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、葉山町、寒川町

## 2. 本市の現状

## 自己肯定感

小学校は、肯定的回答の割合が全国や神奈川県と比べてやや高いですが、中学校は、全国及び神奈川県と同程度となっています。

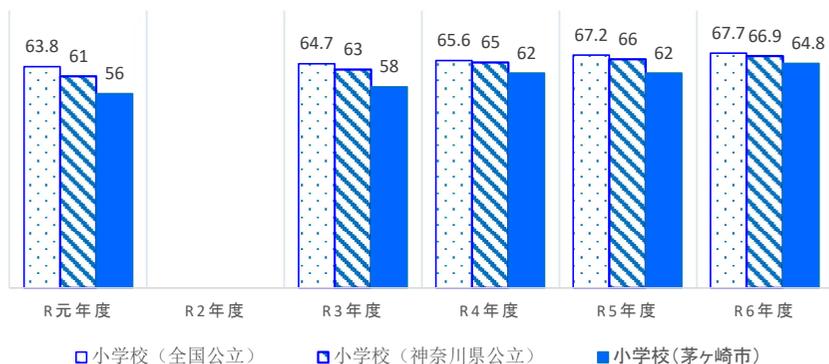


「全国学力・学習状況調査結果」(文部科学省)をもとに作成

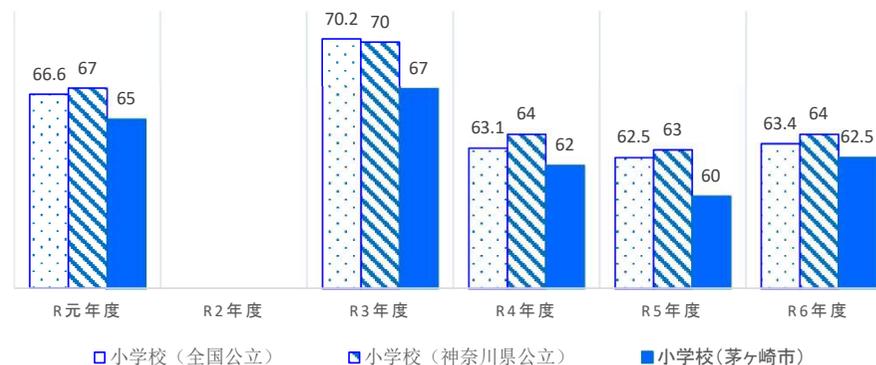
## 2. 本市の現状 学力の状況（小学校6年生）

小学校は、国語・算数・理科ともに、全国平均及び神奈川県平均を下回っています。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、全国学力・学習状況調査は実施されませんでした。

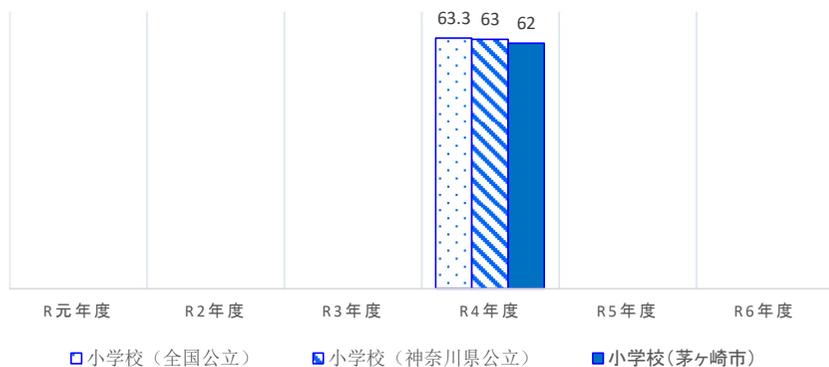
国語平均正答率（小学校6年生）



算数平均正答率（小学校6年生）



理科平均正答率（小学校6年生）

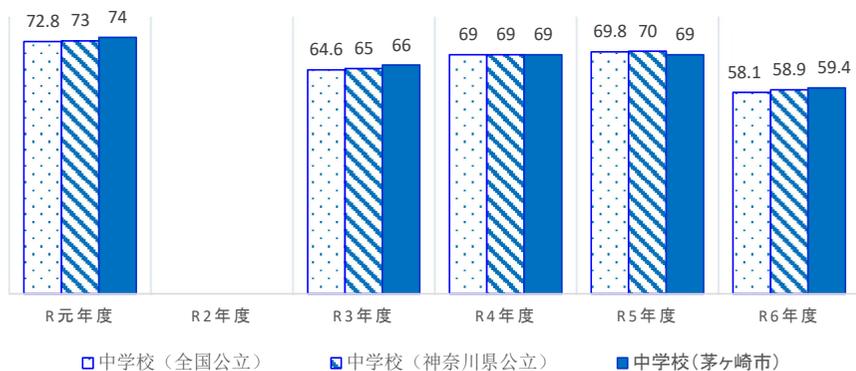


「全国学力・学習状況調査結果」（文部科学省）及び「全国学力・学習状況調査結果及び分析」（茅ヶ崎市）をもとに作成

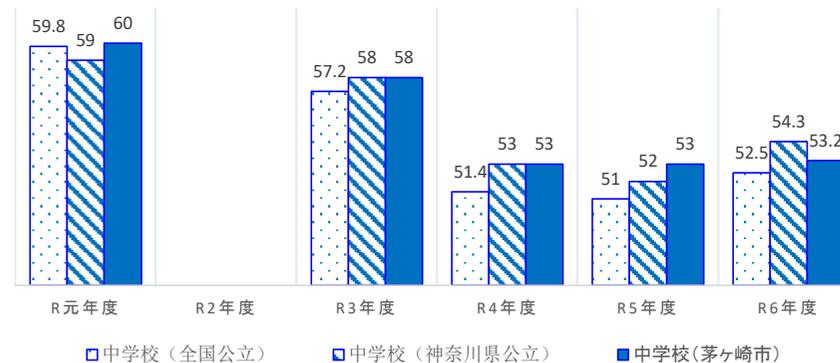
## 2. 本市の現状 学力の状況（中学校3年生）

中学校は、全国平均を概ね上回っています。特に、英語は令和元年度と令和5年度の調査ではありますが、全国平均及び神奈川県平均を上回っています。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、全国学力・学習状況調査は実施されませんでした。

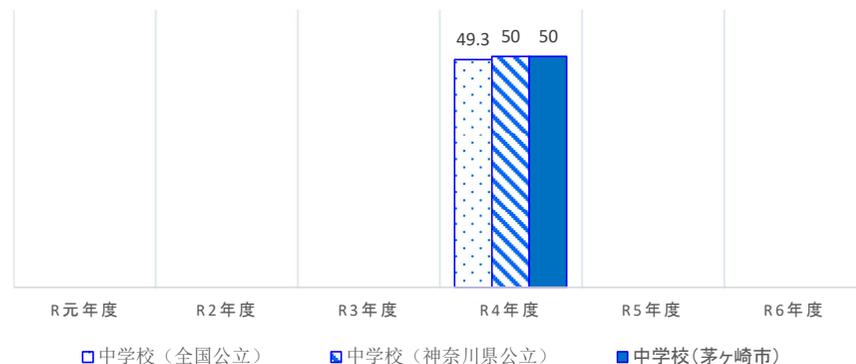
国語平均正答率（中学校3年生）



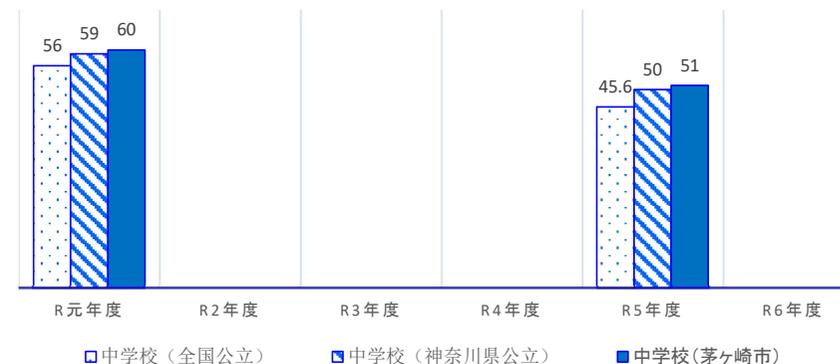
数学平均正答率（中学校3年生）



理科平均正答率（中学校3年生）



英語平均正答率（中学校3年生）

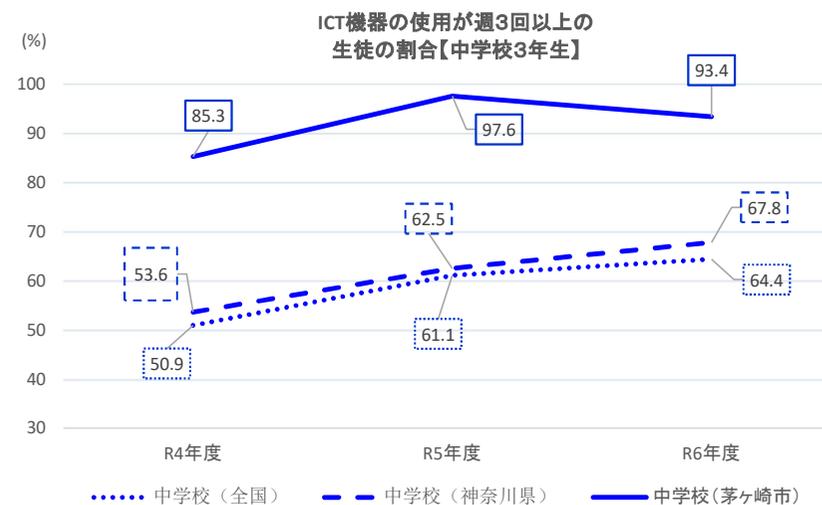
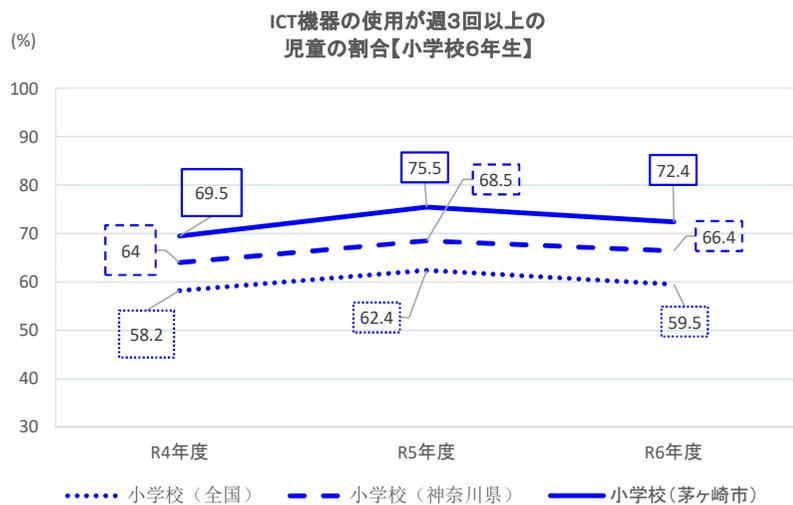


「全国学力・学習状況調査結果」（文部科学省）及び「全国学力・学習状況調査結果及び分析」（茅ヶ崎市）をもとに作成

## 2. 本市の現状

## ICT機器の使用状況

前年度までに受けた授業で、ICT機器の使用が週3回以上の児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国及び神奈川県を上回っています。

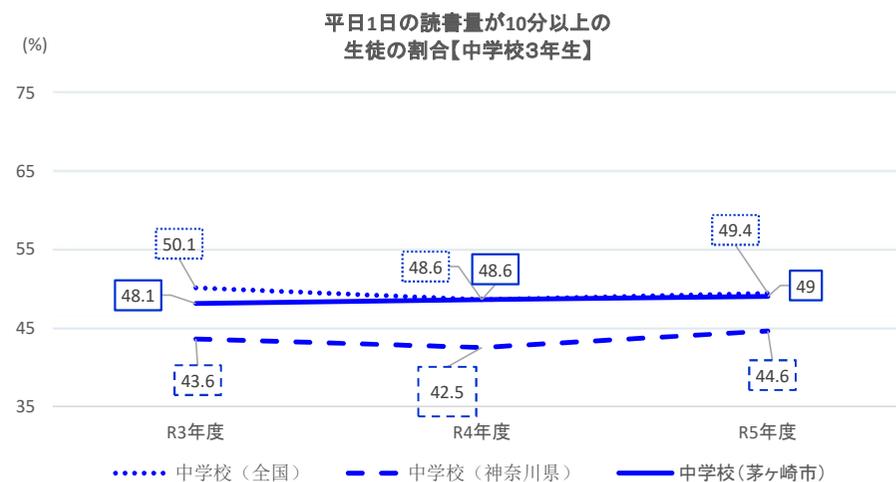
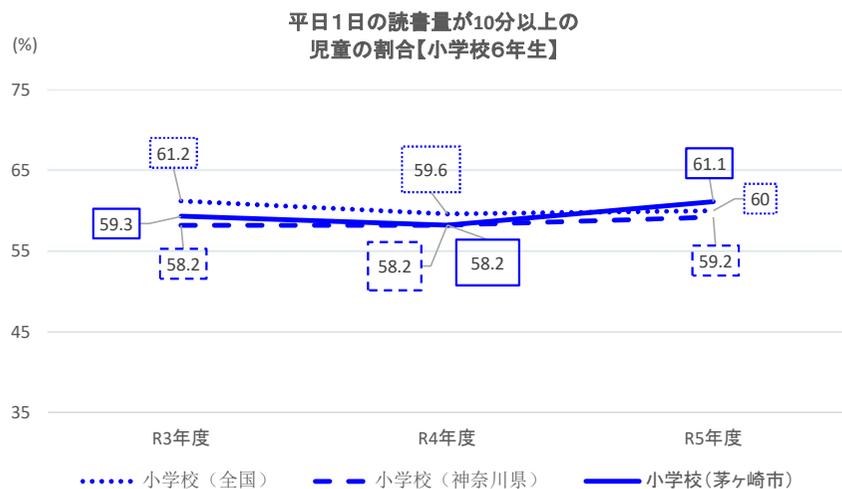


「全国学力・学習状況調査結果」（文部科学省）をもとに作成

## 2. 本市の現状

## 読書活動の状況

平日1日の読書量が10分以上の児童・生徒の割合は、小学校は全国及び神奈川県と同程度で推移しています。中学校は全国と同程度で推移しています。学校図書館と市立図書館が連携し、ストーリーテリングやブックトークを実施しています。



「全国学力・学習状況調査結果」（文部科学省）をもとに作成

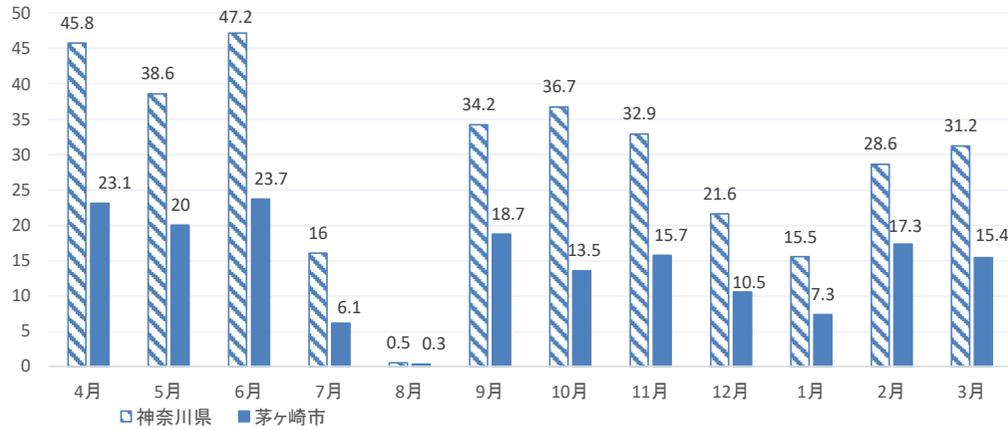
## 2. 本市の現状

## 教職員の時間外在校等時間※

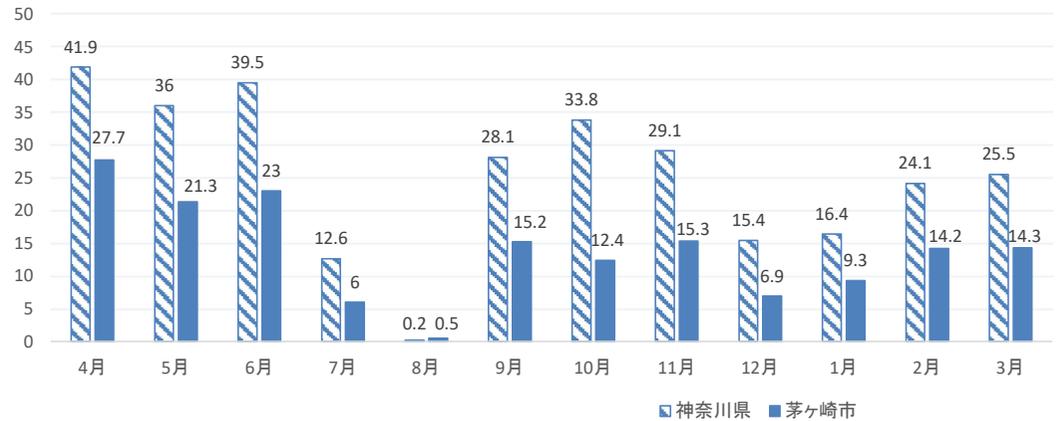
※学校教育活動に関する業務を行っている時間として外形的に把握することができる時間を「在校等時間」とし、1日の在校等時間から条例等で定める正規の勤務時間を除いた時間を「時間外在校等時間」とする。

「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」では、時間外在校等時間の縮減を目標として掲げています。本市では、小学校・中学校ともに概ね神奈川県を下回っていますが、45時間を超える教職員の割合が一定程度存在し、また、月により増減がある状況です。

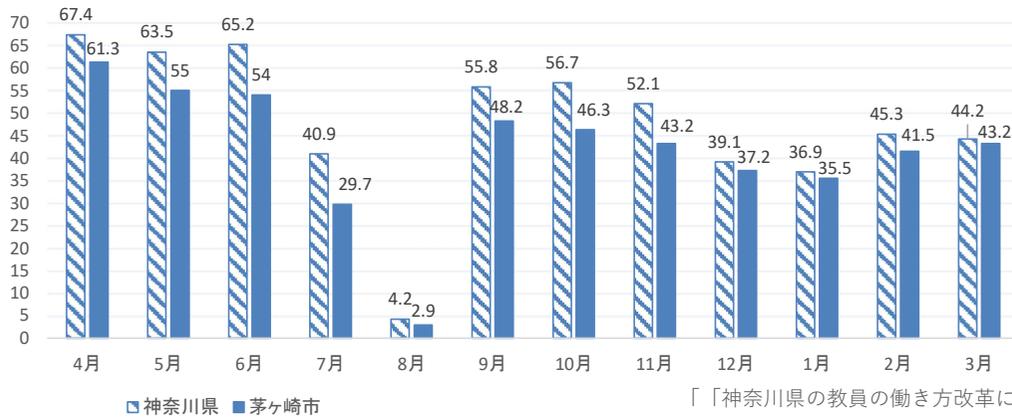
(%) 1か月あたり45時間を超えた教職員の割合(小学校 令和4年度)



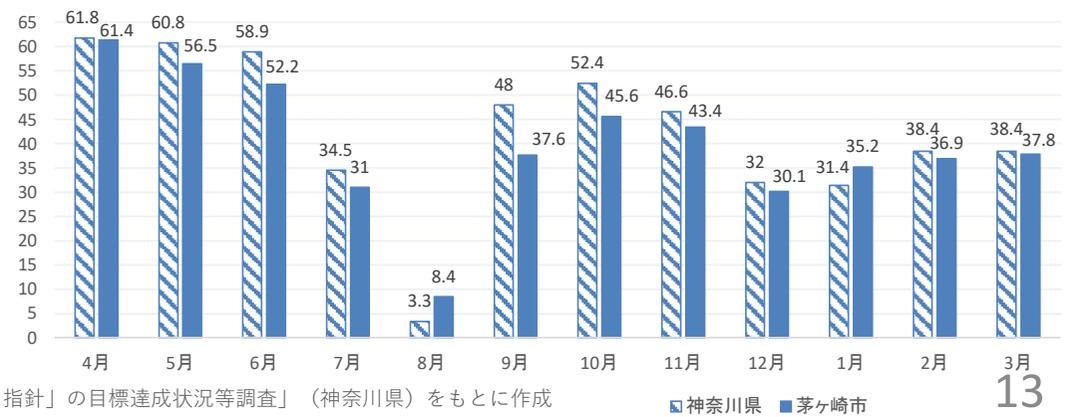
(%) 1か月あたり45時間を超えた教職員の割合(小学校 令和5年度)



(%) 1か月あたり45時間を超えた教職員の割合(中学校 令和4年度)



(%) 1か月あたり45時間を超えた教職員の割合(中学校 令和5年度)

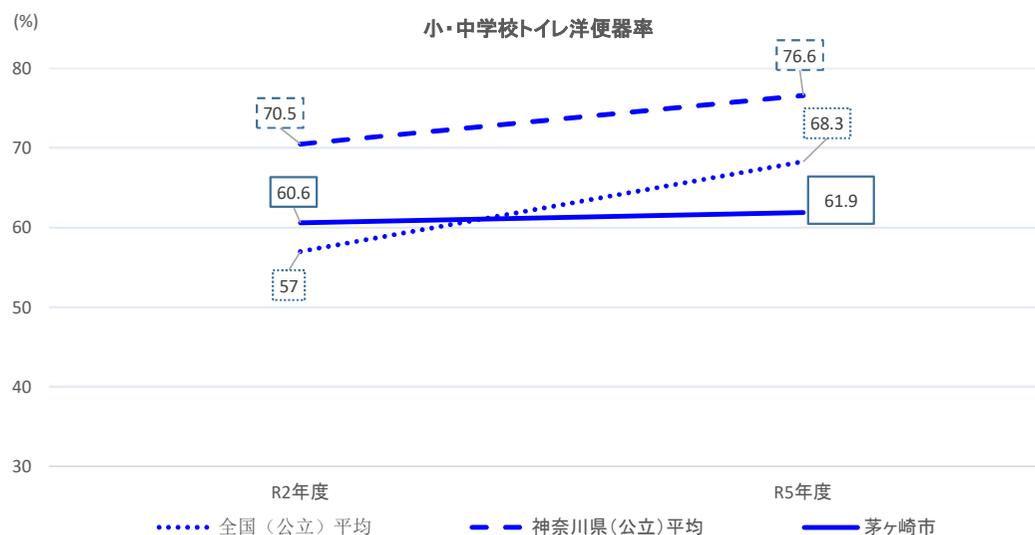


「神奈川県の教員の働き方改革に関する指針」の目標達成状況等調査 (神奈川県) をもとに作成

## 2. 本市の現状

### 小・中学校の施設整備

本市では、令和5年度時点で建築後40年以上経過している建物が全体の約7割をしめており、老朽化が進んでいる状況です。本市の小・中学校の洋便器化の令和5年度の割合は、全国及び神奈川県の前年度平均を下回っています。



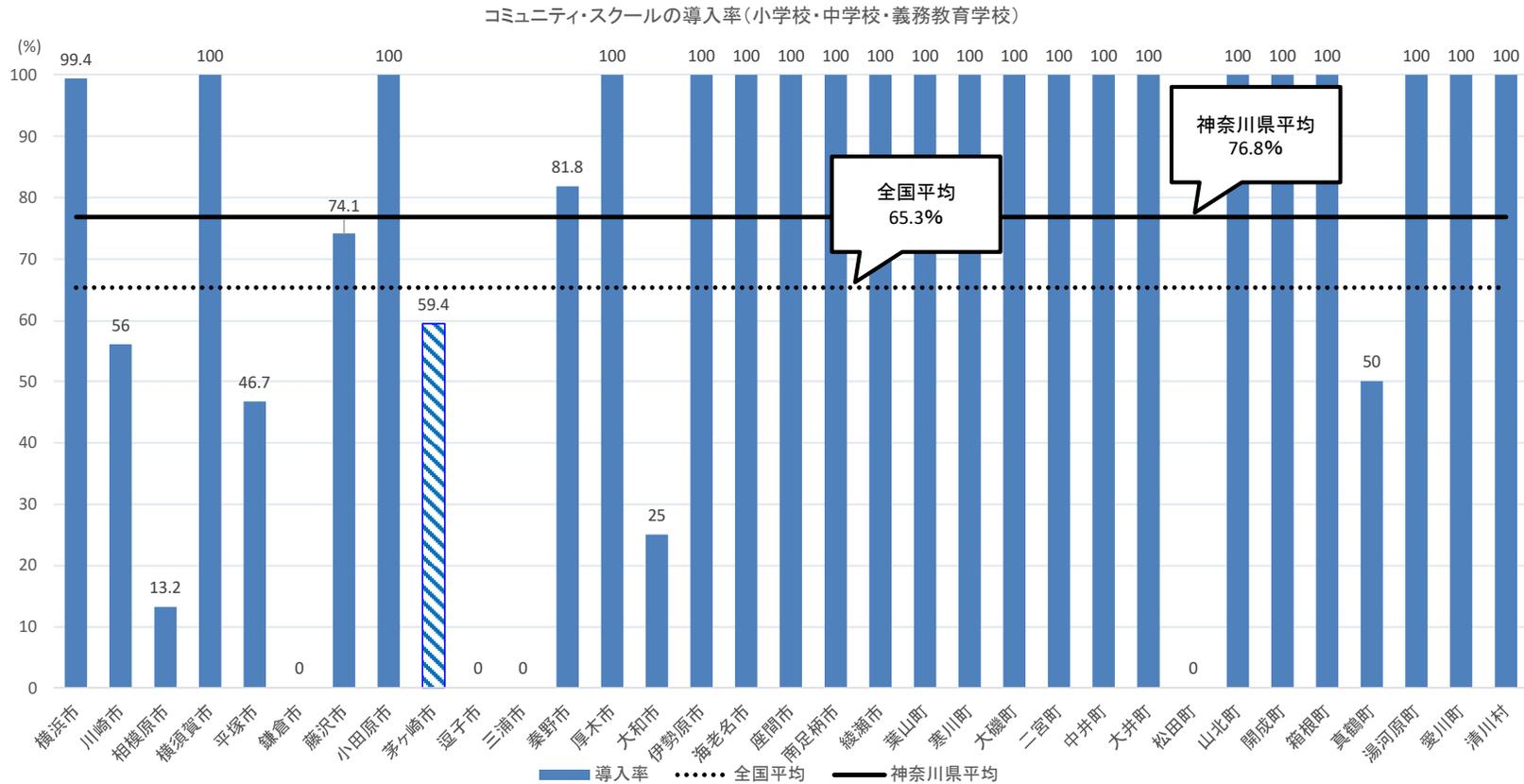
※「全国（公立）平均」及び「神奈川県（公立）平均」は義務教育学校・中等教育学校の前期課程を含む。

「公立学校施設のトイレの洋式化の状況調査結果」（文部科学省）をもとに作成

## 2. 本市の現状

## コミュニティ・スクールの活動実施状況

本市では、令和6年5月1日現在、全国及び神奈川県の前平均値を下回っています。令和7年度までに全校設置となる予定です。

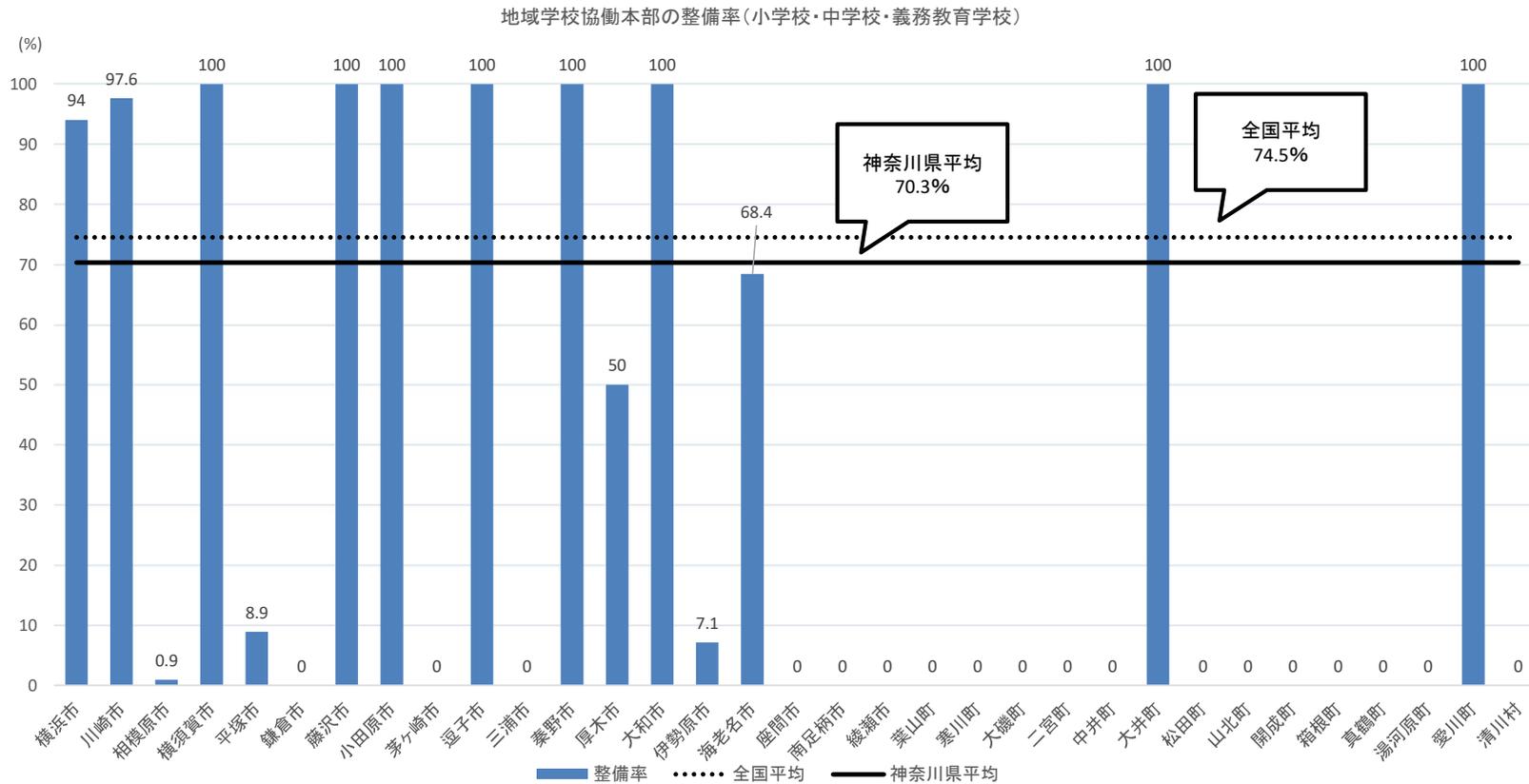


「令和6年度 コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査」(文部科学省)をもとに作成

## 2. 本市の現状

## 地域学校協働本部の活動実施状況

本市では、令和6年5月1日現在、整備していません。コミュニティ・スクールが令和7年度までに全校設置となる予定であることから、コミュニティ・スクールと一体的に進めていくことを検討しています。



「令和6年度 コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査」(文部科学省)をもとに作成

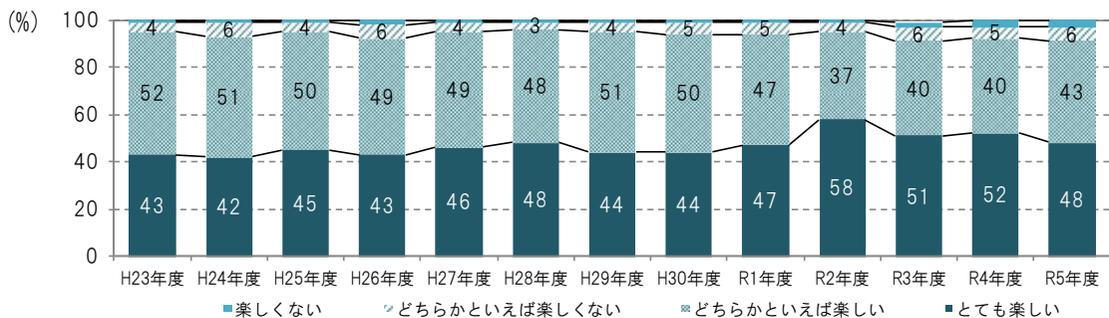
### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策1 児童・生徒の資質と能力をはぐくむための授業づくりと学びを支える体制の構築

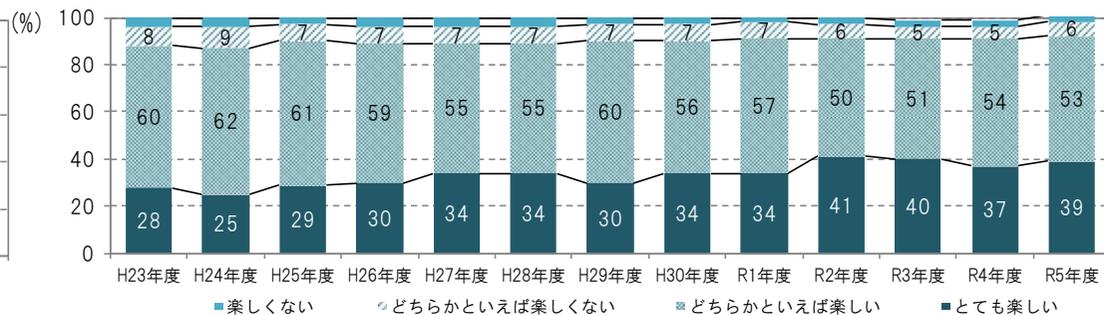
##### ① 学校で色々なことが分かるようになることが楽しいと思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



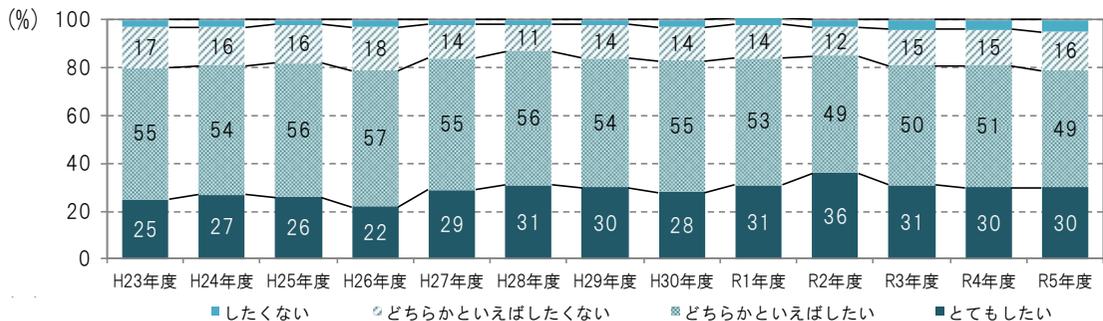
###### 中学校3年生



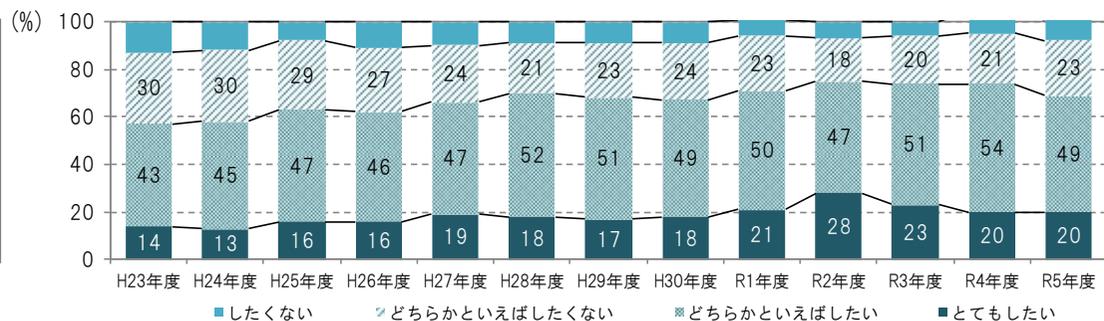
##### ② もっと学習したいと思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



###### 中学校3年生



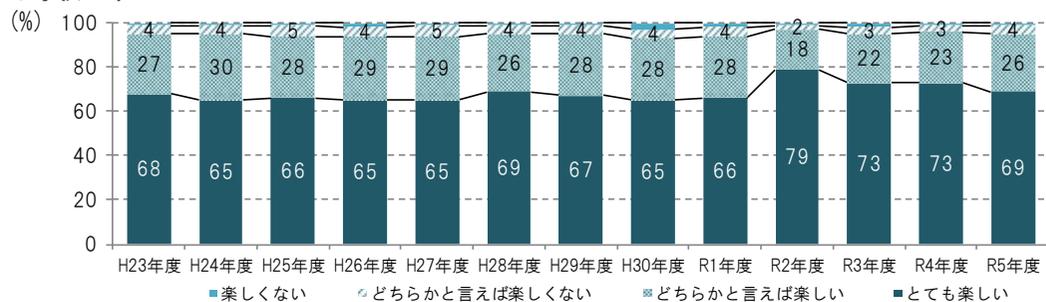
### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策1 児童・生徒の資質と能力をはぐくむための授業づくりと学びを支える体制の構築

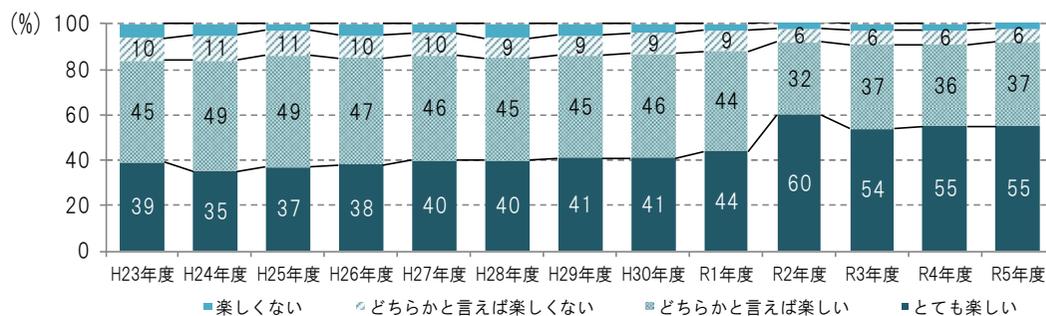
##### ③ 学級の友だちと一緒に学習することが楽しいと思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



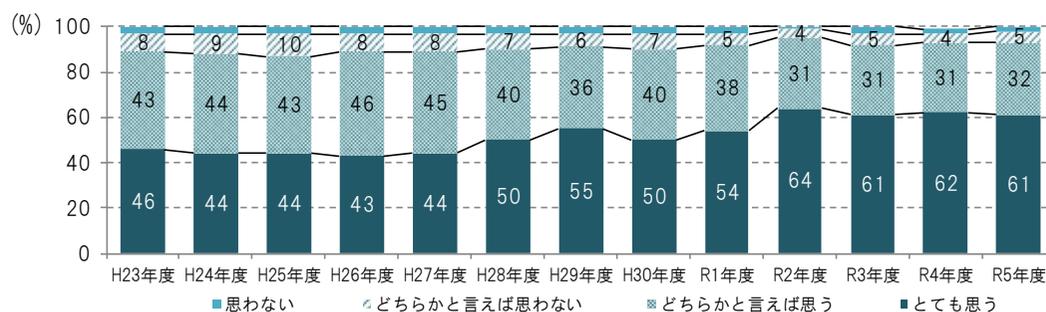
###### 中学校3年生



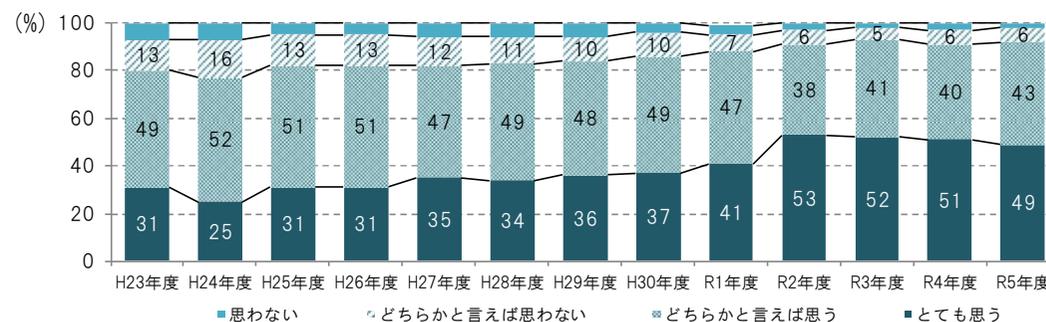
##### ④ 授業が分からなくなったとき、先生や友だちが助けてくれると思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



###### 中学校3年生



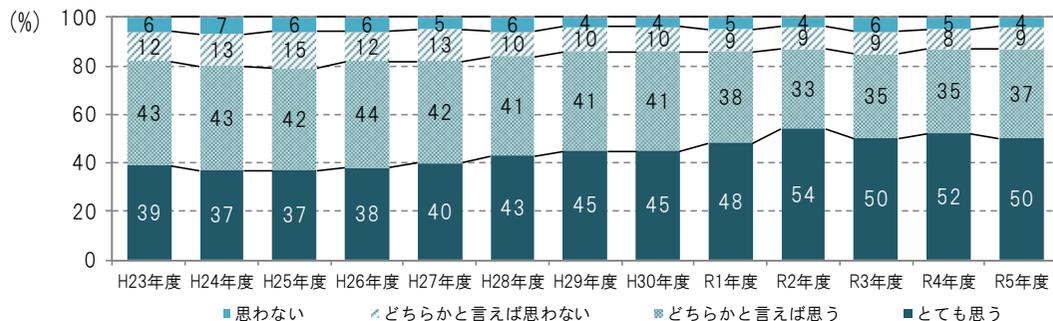
### 3. 現行計画の指標の推移

## 政策1 児童・生徒の資質と能力をはぐくむための授業づくりと学びを支える体制の構築

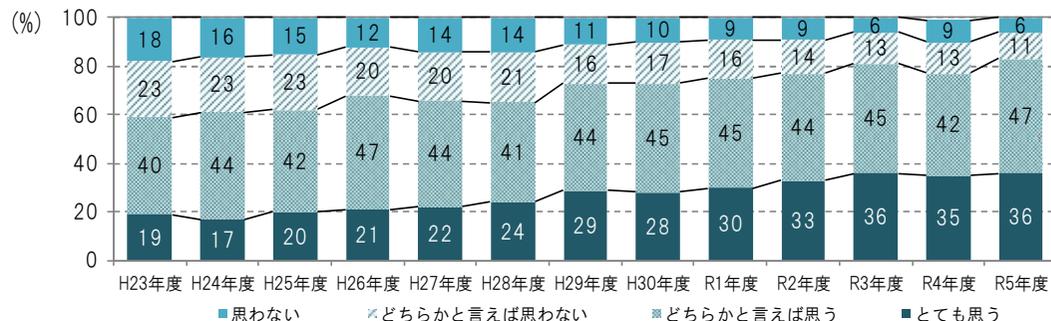
#### ⑤ 学校生活で困ったことやトラブルが起きたとき、先生や相談員さんが助けてくれると思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

##### 小学校6年生



##### 中学校3年生

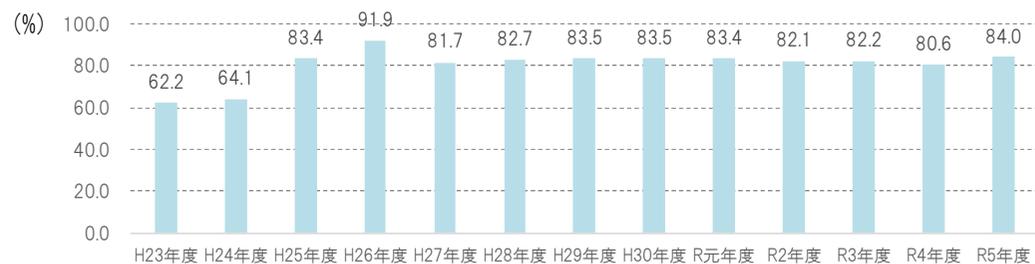


### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策2 質の高い学びを創るための教職員の人材育成と働きやすい環境の整備

##### ① 研修・講座に参加して効果があると感じ、実践しようと思う教職員の割合

出典：教育センター調べ



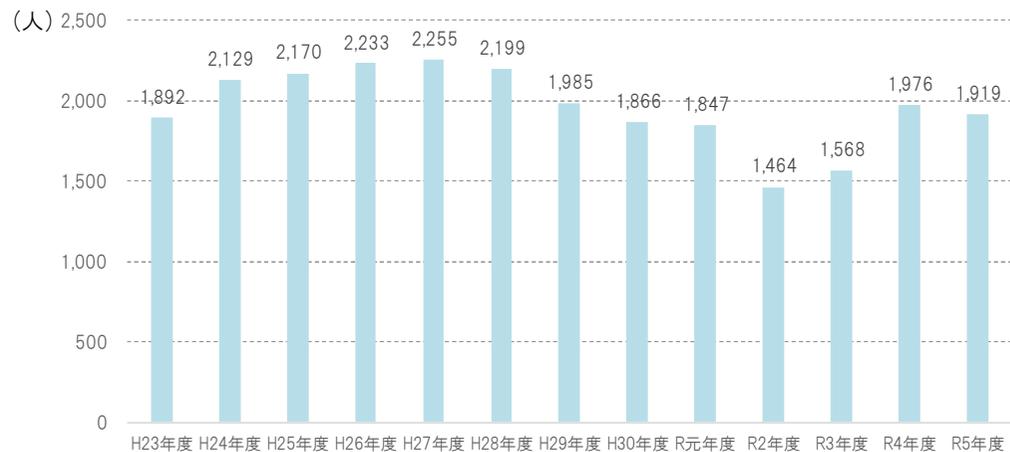
##### ② 「子どもの育ち」をテーマとした教育職員対象講座の参加者のうち自ら実践したいと思う参加者の割合

出典：教育センター調べ



##### ③ 教育関係職員の研修参加者数

出典：教育センター調べ

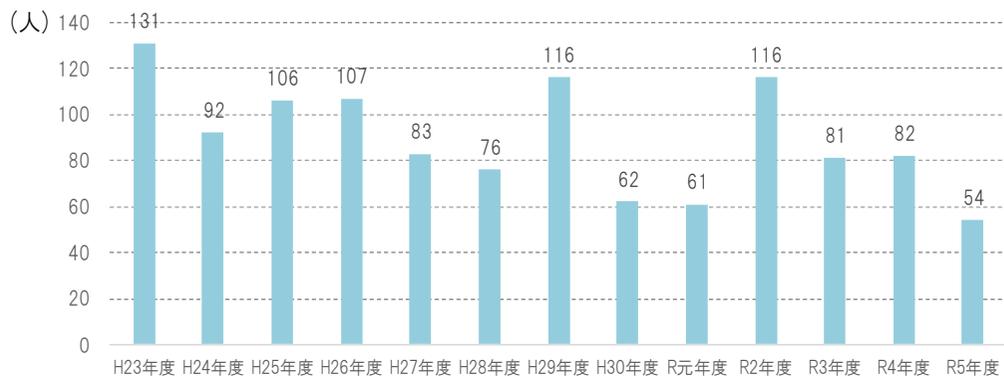


### 3. 現行計画の指標の推移

### 政策3 子どもと大人が共に育ちあう社会教育の推進

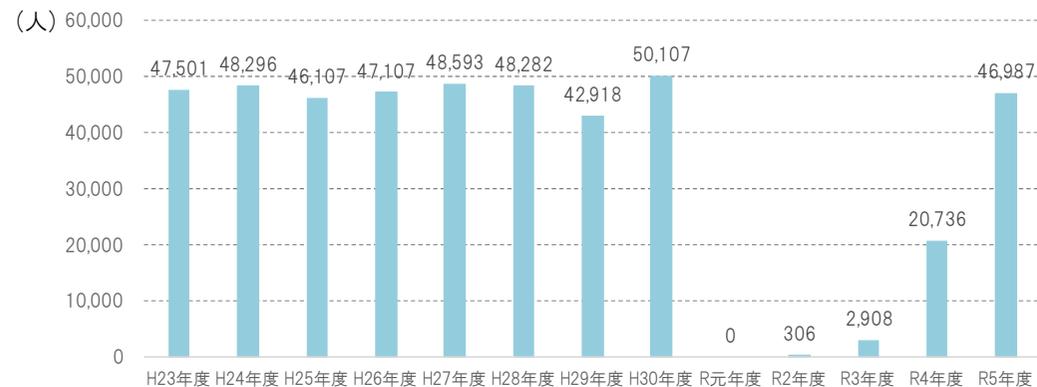
① 社会教育関係職員の研修参加者数（人）

出典：社会教育課調べ



② 社会教育主催事業・イベントの参加者数（人）

出典：社会教育課調べ



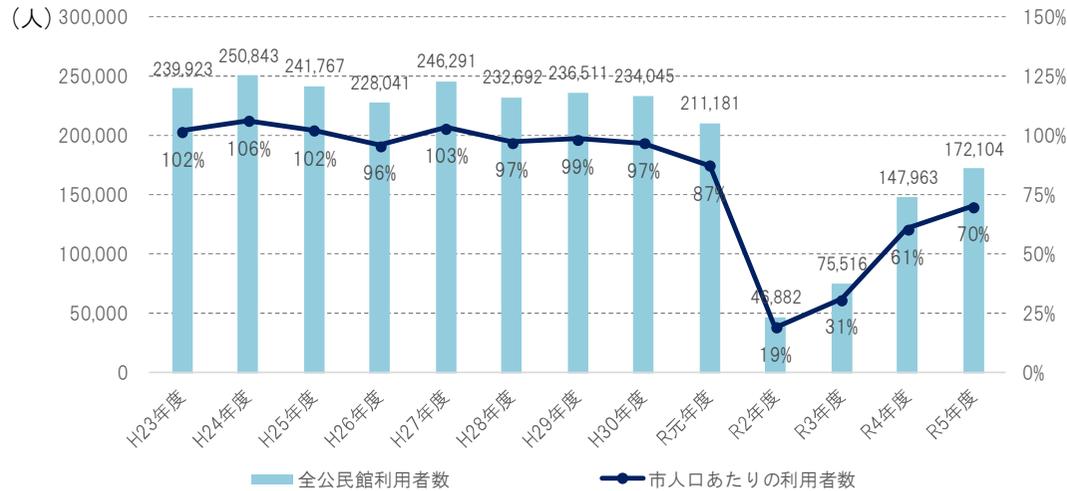
※参加者＝対面による開催＋オンライン講座参加者数

### 3. 現行計画の指標の推移

### 政策3 子どもと大人が共に育ちあう社会教育の推進

③ 市人口当たりの公民館の利用割合(%) (公民館の利用者数/市人口)

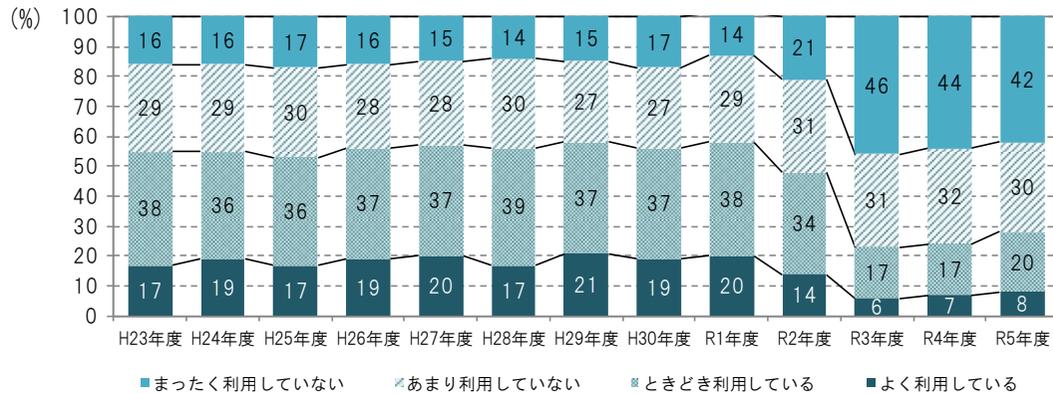
出典：社会教育課調べ



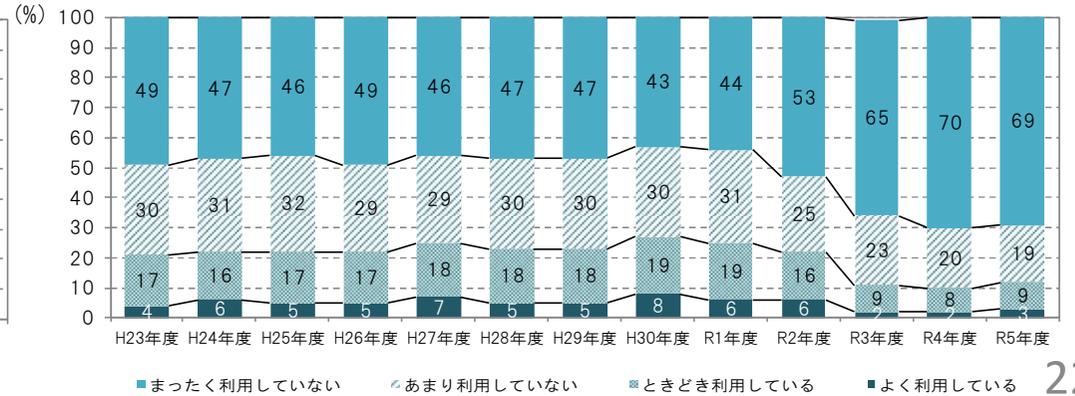
④ 公民館を利用したことある児童・生徒の割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

#### 小学校6年生



#### 中学校3年生

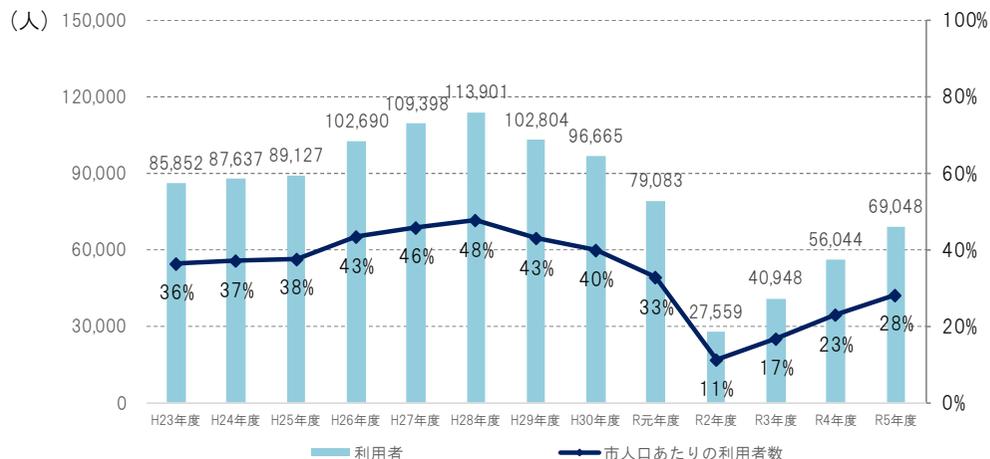


### 3. 現行計画の指標の推移

### 政策3 子どもと大人が共に育ちあう社会教育の推進

⑤ 市人口当たりの青少年会館の利用割合（％）  
（青少年会館の利用者数／市人口）

出典：青少年課調べ



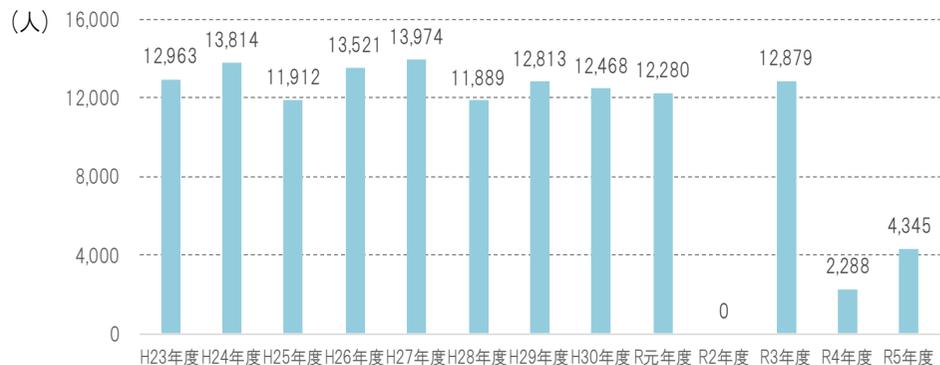
⑥ 市人口当たりの体験学習センターの利用割合（％）  
（体験学習センターの利用者数／市人口）

出典：青少年課調べ



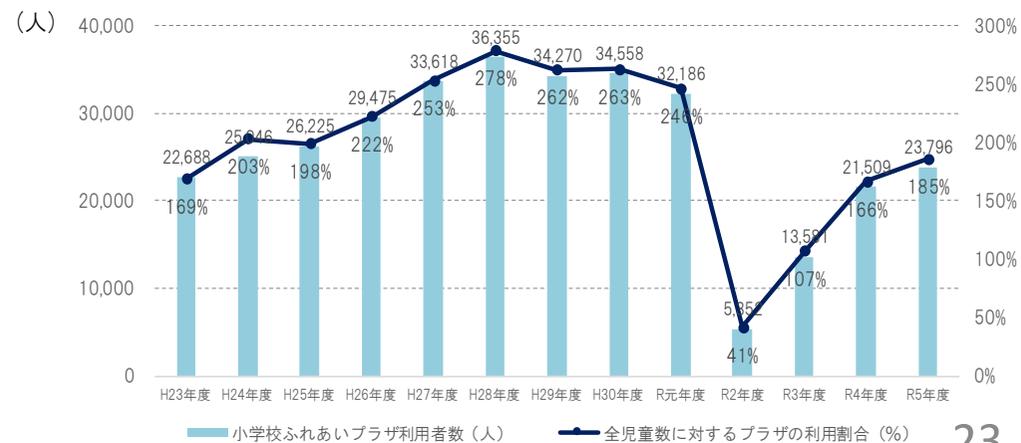
⑦ 青少年育成推進協議会主催「子ども大会」参加者数（人）

出典：青少年課調べ



⑧ 小学校ふれあいプラザの利用者数（人）

出典：青少年課調べ

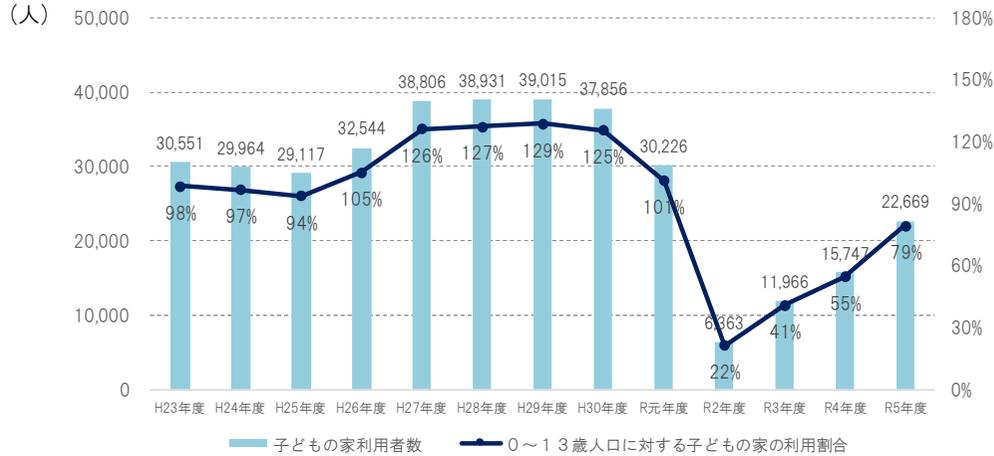


# 3. 現行計画の指標の推移

## 政策3 子どもと大人が共に育ちあう社会教育の推進

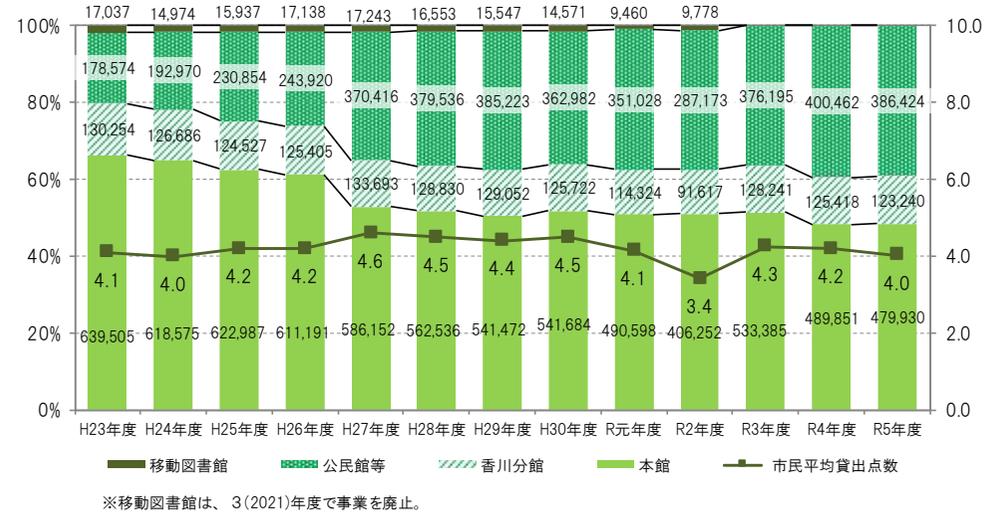
⑨ 子どもの家利用者数（人）

出典：青少年課調べ



⑩ 市民1人当たりの貸出点数（貸出点数/市人口）

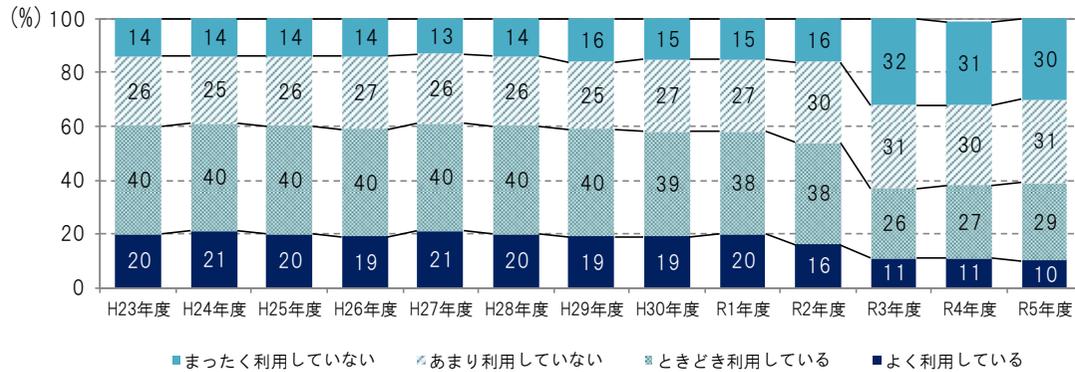
出典：図書館調べ



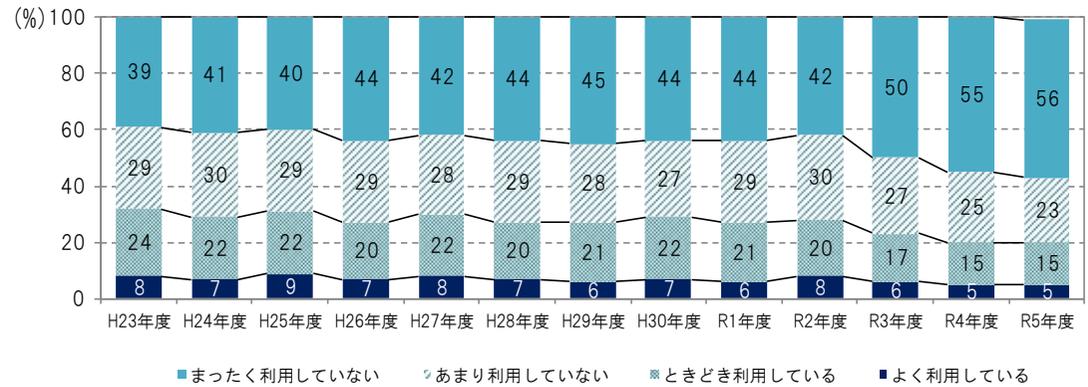
⑪ 図書館（分館、図書コーナーを含む）を利用したことがある児童・生徒の割合（％）

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

小学校6年生



中学校3年生

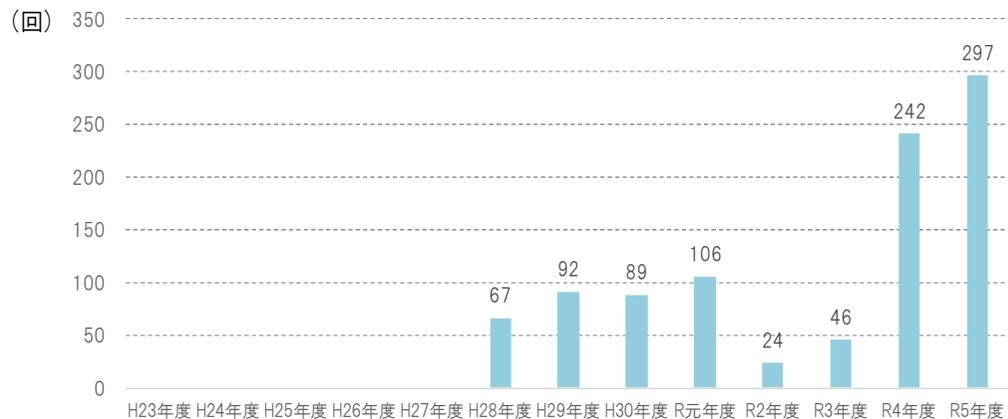


### 3. 現行計画の指標の推移

### 政策3 子どもと大人が共に育ちあう社会教育の推進

⑫ 家庭教育と幼児期教育の支援に関する研修・講座の開催数（回）

出典：社会教育課調べ



⑬ 児童クラブの入所児童数（人）

出典：青少年課調べ

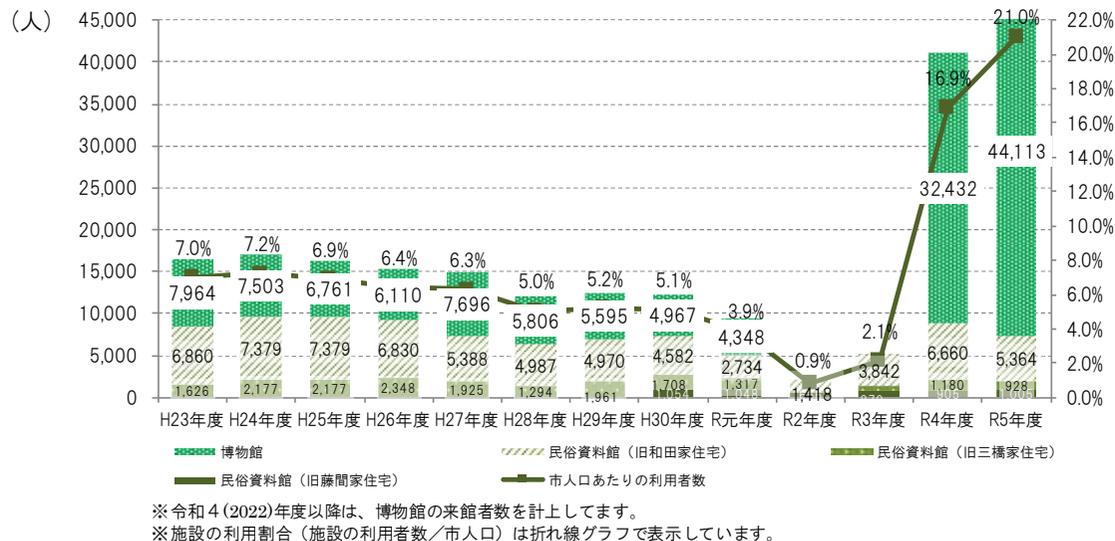


### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策4 郷土に学び未来を拓く学習環境の整備

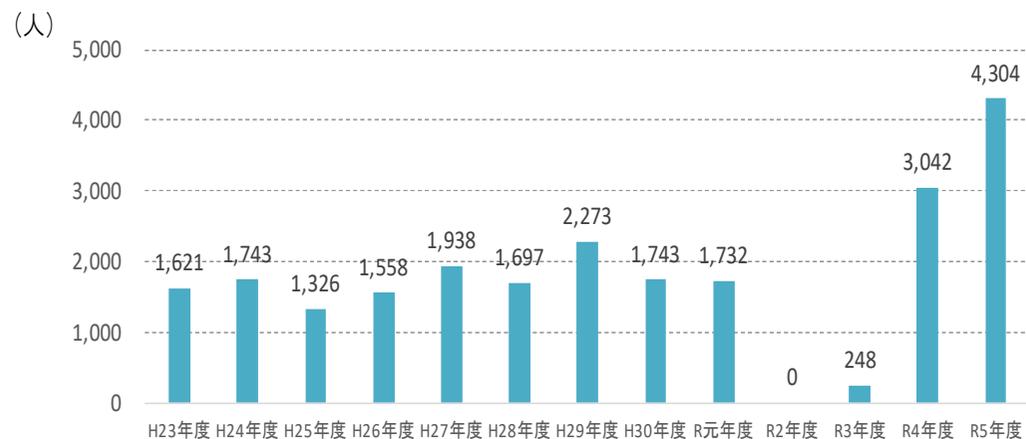
① 市人口当たりの博物館・民俗資料館の利用の割合（％）  
（博物館・民俗資料館利用者数／市人口）

出典：社会教育課調べ



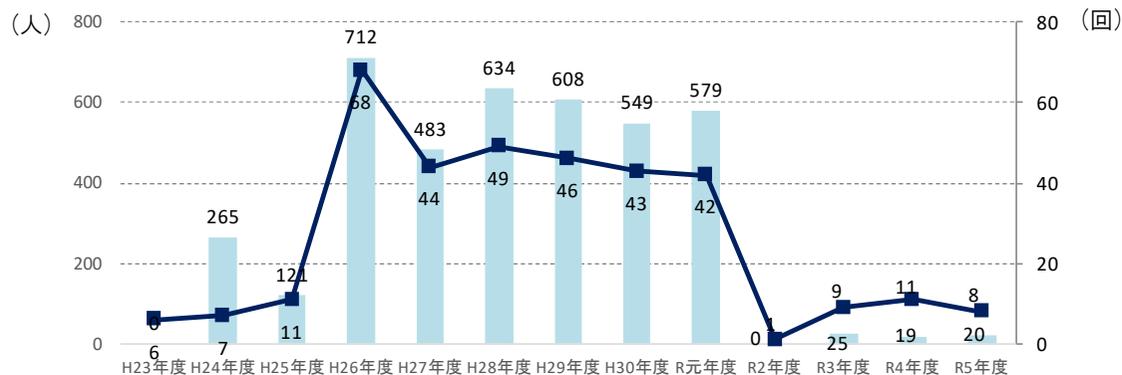
② 文化財に関する講演会、展示・発表会などの公開事業の参加者数（人）

出典：社会教育課調べ



③ ちがさき丸ごと発見博物館事業で開催した講座等の開催数（回）と受講者数（人）

出典：社会教育課調べ



### 3. 現行計画の指標の推移

### 政策5 教育的効果を高める教育行政の推進

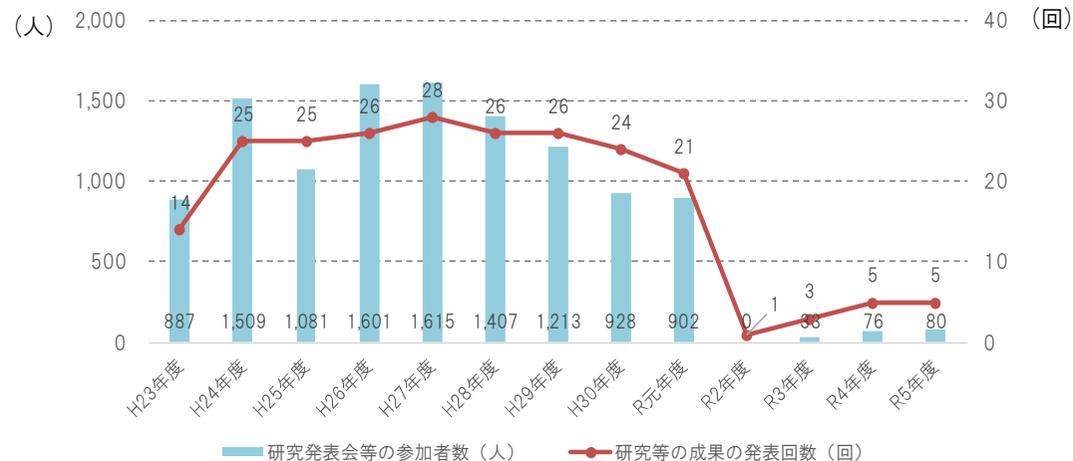
#### ① 調査研究委員会の研究テーマ

出典：教育センター調べ

年度	神奈川県教育研究所連盟研究発表大会 発表テーマ
H26年度	「茅ヶ崎の授業研究」～教職経験の短い教員の授業力向上に向けて～ 「小学校と中学校の学びの連携」 「ICTを利用した授業づくり」～これからの茅ヶ崎スタイル～
H27年度	「他者との関わり・学び合いを大切に授業づくり（国語）」 「学習観の転換」～算数・数学の本質的理解、思考重視の授業へ～ 「子どもの学びと育ちを支える授業づくり」 「学校における不登校児童・生徒への支援」
H28年度	「質の高い学びをつくる授業研究」 「ICT活用の可能性と課題」 「家庭との連携を図った学習習慣の形成」～基礎学力をつける家庭学習～
H29年度	「インクルーシブな環境づくり」～支えあう学級づくり・授業づくり～ 「子どもたちが自分の価値を自分で認められる学びの環境づくり」 「系統性を意識した児童のあり方について」～器械運動（マット運動）を通して～ 「英語を通して育てるコミュニケーションスキル」～他者理解を目指した小中のつながり～
H30年度	「地域の子どもたちを支える新たな視点」～学習支援・居場所づくりを通じて～ 「子どもをとりまくコミュニケーションツールの現状について」 「深い学びを支えるための授業づくり」～そのための「しかけ」の工夫～
R元年度	「学びに向かう力を育てるために」 「茅ヶ崎の地域素材の活用（地形図も含む）に向けて～児童・生徒にとって使いやすい茅ヶ崎の地域学習用副読本の改訂～」 「今までの授業に取り入れられる「書く」活動のひとつ～中学校との接続を意識して～」
R2年度	感染症まん延防止のため、調査研究委員会及び発表会は中止。
R3年度	調査研究委員会で研究した次の5件を発表予定でしたが、感染症まん延防止のため発表大会は中止となりました。 ・茅ヶ崎の教育調査研究会「『思考力・判断力・表現力』を育む授業実践」 ・情報教育調査研究会「はじめようプログラミング教育 ～プログラミング的思考を育む授業を目指して～」 ・授業研究調査研究会「ふり返りから実践へ」（※授業研究後のふり返りを、次の授業にどのように生かしていくか） ・子どもの成長・発達調査研究会「コロナ禍でも、他者との関係性が育つ授業の在り方 ～協同的に探究をする学習に焦点を当てて～」 ・教科教育調査研究会「1人1台端末を活用した授業改善について ～深い学びを実現させるためのICTの活用～」
R4年度	・「思考力・判断力・表現力を育む授業実践」～授業研究を通して「子どもの学びの姿容・深まり」について考える～ ・「ふり返りから実践へ」 ・「はじめようプログラミング教育」～プログラミング的思考を育む授業を目指して～
R5年度	・制限のある学習環境で、他者との関係性を育む授業 ～学びを支える対話に視点を当てて～ ・1人1台端末を活用した授業改善について ～深い学びを実現させるためのICTの活用～

#### ② 調査研究等の成果の発表回数と調査研究発表会の参加者数（人）

出典：教育センター調べ



※令和2(2020)年度より研究発表の場（対象事業：5事業）を変更しています。なお、2(2020)年度は動画配信のため参加者が0人となっています。

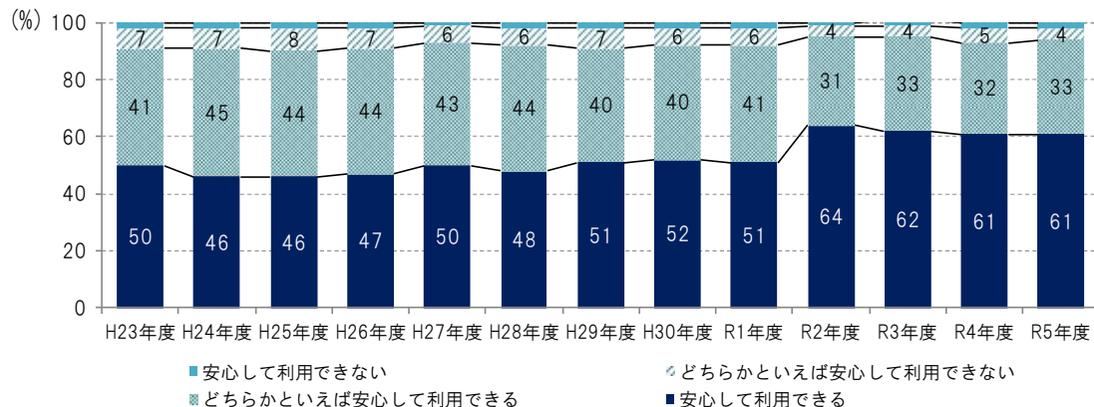
### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策6 安全で安心な教育施設の整備

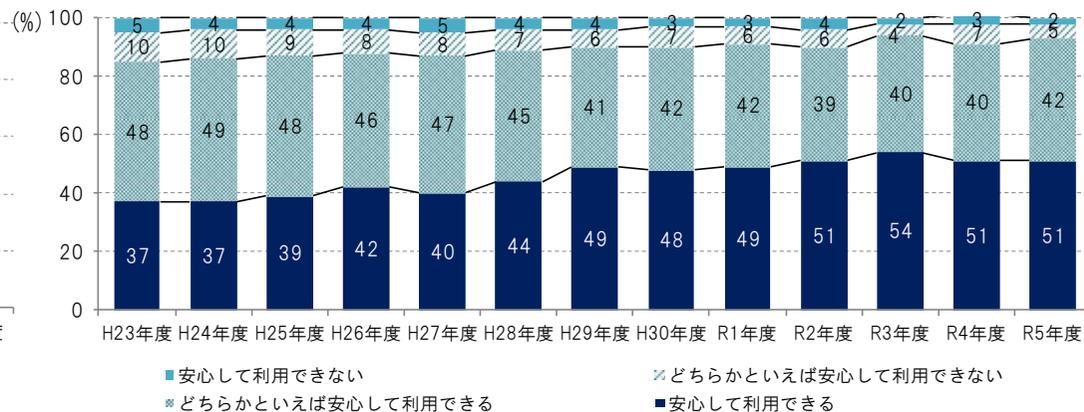
##### ① 教室や体育館、運動場の施設を安心して利用できると思う割合

小学校6年生

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

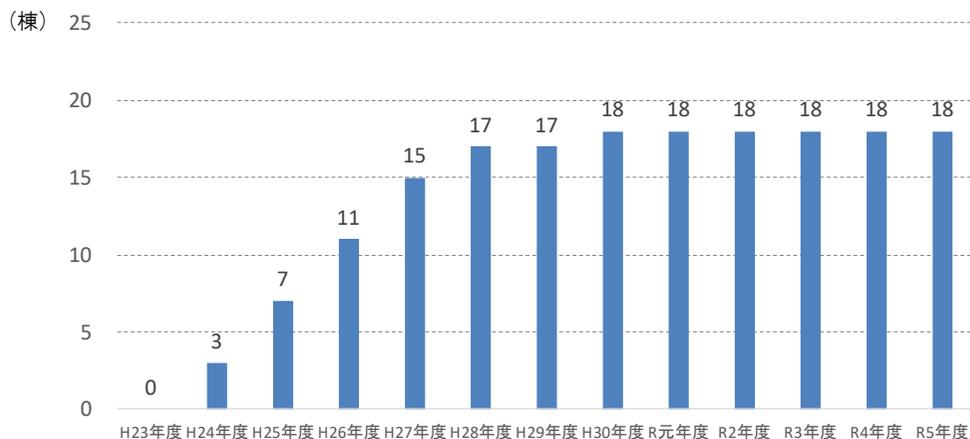


中学校3年生



##### ② 教育施設の再整備（大規模改修）の累計棟数（棟）

出典：教育施設課調べ



累計棟数は、平成23(2011)年以降の実績数。

### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策7 子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備

##### ① 学校給食摂取基準に対する児童の推定摂取量

出典：学務課調べ

区 分	単 位	学校給食摂取基準 (R1時点)	R3年度		R4年度		R5年度	
			提供栄養量 (平均)	推定摂取量	提供栄養量 (平均)	推定摂取量	提供栄養量 (平均)	推定摂取量
エネルギー	kcal	641	651.4	620.8	653.0	615.0	649.0	605.0
たんぱく質	g	24.0	25.7	25.6	27.0	25.3	26.7	24.8
脂質	g	21.0	22.1	21.0	22.1	20.8	21.9	20.3
食塩	g	2.5	2.3	2.2	2.3	2.1	2.2	2.1
カルシウム	m g	350	336.0	318.1	338.0	316.0	332.0	306.0
マグネシウム	m g	78	87.6	82.6	92.5	86.3	92.0	85.0
鉄	m g	2.5	2.3	2.1	2.5	2.3	2.6	2.4
亜鉛	m g	2.0	3.1	2.9	3.1	2.9	3.0	2.8
ビタミンA (レチノール活性当量)	μ g	172	254.5	240.5	268.0	250.0	264.0	248.0
ビタミンB1	m g	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5
ビタミンB2	m g	0.4	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5
ビタミンC	m g	20	25.9	24.6	28.0	26.0	26.0	24.0
食物繊維	g	5.0	4.6	4.3	5.0	4.6	5.0	4.0

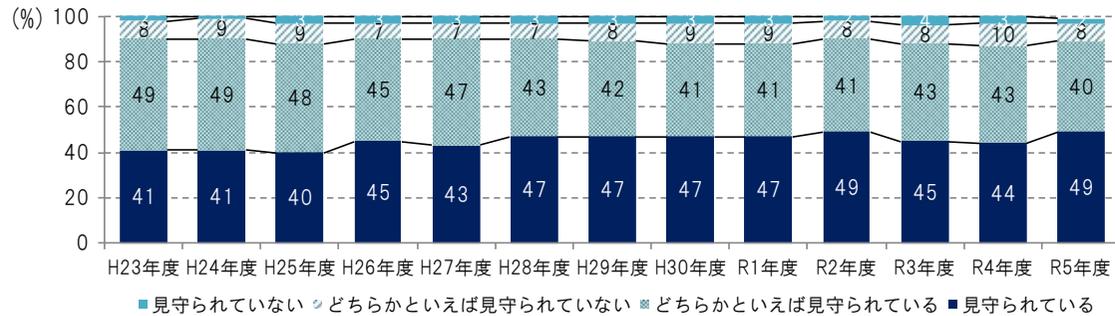
### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策7 子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備

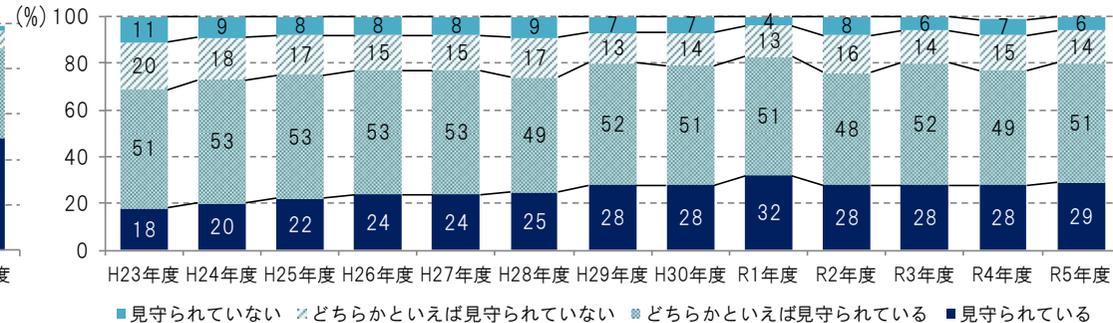
##### ② 地域の大人に見守られていると思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



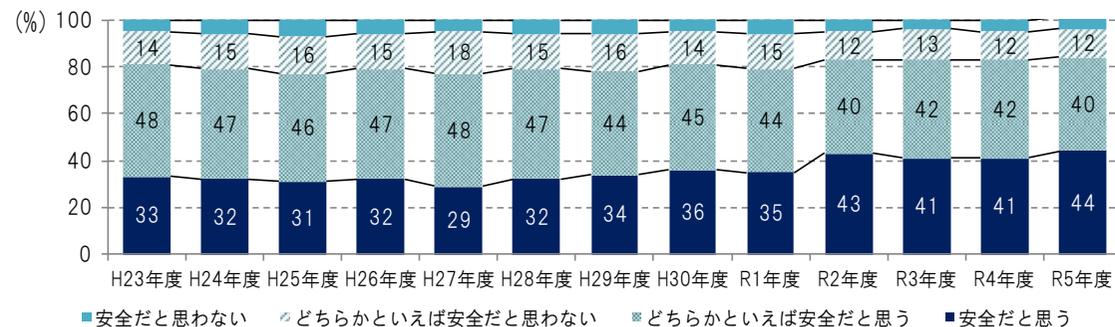
###### 中学校3年生



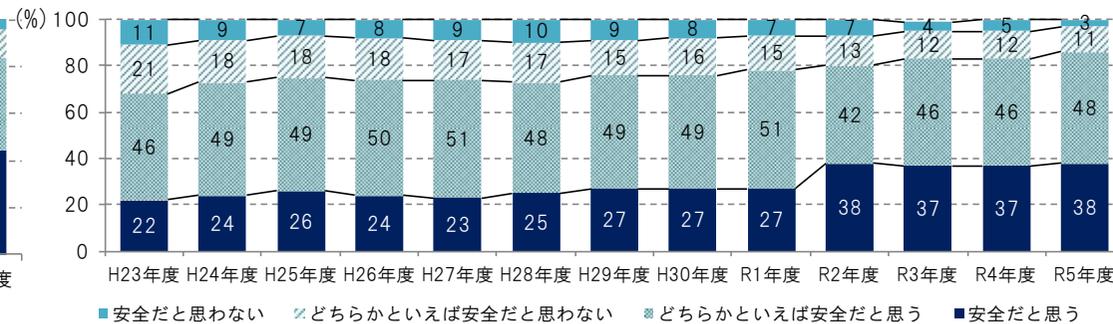
##### ③ いつも登下校している通学路が安全だと思う割合

出典：茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査

###### 小学校6年生



###### 中学校3年生

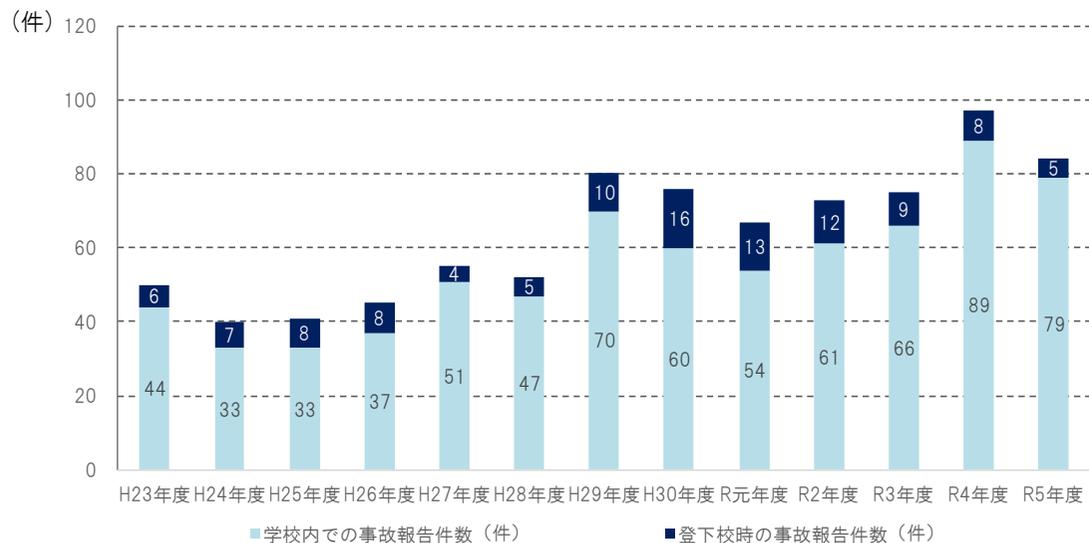


### 3. 現行計画の指標の推移

#### 政策7 子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備

##### ④ 学校内・登下校時の事故報告件数（件）

出典：学務課調べ



※平成29(2017)年度以降に、事故報告の基準を変更しています。